

日本セルフ第 24-181 号
全社高障福発第 165 号
平成 24 年 7 月 19 日

全国社会就労センター協議会 会員 各位

全国セルフ東日本大震災対策本部
本部長 近藤 正臣

**「日本障害フォーラム（JDF）東日本大震災被災地への人員派遣」
への協力依頼について（岩手県陸前高田市）**

全国社会就労センター協議会・日本セルフセンターの事業の推進につきましては格別なるご協力をいただき深謝申し上げます。

全国社会就労センター協議会・日本セルフセンターでは合同で全国セルフ東日本大震災対策本部を発足させ、JDF の実施する被災地人員派遣事業に協力、これまでに 217 名（1914 人日）を宮城県と福島県に派遣してまいりました。これまで格別なるご協力を賜りましたことを厚くお礼を申し上げます。

現在全国セルフでは福島県南相馬市に人員派遣を行っていますが、7 月より新たに岩手県陸前高田市にも支援のため人員派遣を行うこととなりました。陸前高田市は津波に市内中心部が襲われ市役所も破壊される等今回の震災で最も大きな被害を受けた地域のひとつです。

JDF では陸前高田市において訪問調査を行うこととなりました。この訪問調査は陸前高田市の障害福祉計画の策定を含む今後の障害福祉行政や防災計画への反映などの基礎資料を得るために、JDF が市からの依頼を受けて実施するものです。全国セルフとしてもこの支援活動に協力することにいたしましたので、会員施設・事業所のこれまでどおりのご協力を賜りたく願います所存です。

記

1. 活動内容

訪問調査（障害者の自宅を訪問して被災状況、ニーズの調査を行います）

2. 職員派遣のご協力をお願いしたい期間（1クール）

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ① 7 月 26 日（木）～8 月 1 日（水） | ② 8 月 2 日（木）～8 月 8 日（水） |
| ③ 8 月 9 日（木）～8 月 15 日（水） | ④ 8 月 16 日（木）～8 月 22 日（水） |
| ⑤ 8 月 23 日（木）～8 月 29 日（水） | ⑥ 8 月 30 日（木）～9 月 5 日（水） |
| ⑦ 9 月 6 日（木）～9 月 12 日（水） | ⑧ 9 月 13 日（木）～9 月 19 日（水） |
| ⑨ 9 月 20 日（木）～9 月 26 日（水） | ⑩ 9 月 27 日（木）～10 月 3 日（水） |

3. 留意事項

- (1) 日程は、木曜日の 17 時 45 分集合に気仙沼駅に集合、気仙沼宿舎泊（後述）、金曜日～火曜日は訪問調査活動、水曜日 8 時 30 分に気仙沼駅解散となります。
- (2) 上記日程以外でご予定されている場合は、事務局（後述）までご一報ください。
- (3) 現地活動中の食費ならびにガソリン、高速道路料金、備品・消耗品にかかる費用につ

いては、JDF が負担します（現物支給を含みます）。これらの費用を立替えた場合は、現地で精算をすませてください。現地までの往復にかかる旅費については一時立て替えていただき、後日全国セルフで精算させていただきます。なお、領収書の保管をお願いします（可能な限り）。

- (4) 派遣期間は JDF が決定いたしますので必ずしもご希望通りにならない場合もございます。その際は当本部事務局より調整させていただきます。
- (5) 着替え（動きやすい服装）、防寒具（寒暖の差があるので注意）、上履き、タオル、帽子、雨具、携帯電話、常備薬、洗面道具、名刺、保険証、筆記用具、悪路でも歩きやすい靴、その他必要と思われるものをあらかじめ各自で準備しておいてください。なお、スーパー及びコンビニはたくさんあります。ただし物価は首都圏に比べて高い傾向にあります。
- (6) 現地での食事は各自で調達してください。陸前高田・気仙沼共に飲食店は多数あります。
- (7) 救援用の物資等は不要です。（支援センターへの食品の差し入れは歓迎です）
- (8) 列車等で参加する方も運転ができる方は免許等の携行をお願いいたします。
- (9) JDF の人員派遣要綱では在宅障害者の生活支援員も募集していますが、人員が充足していますので、全国セルフでは訪問調査員のみを募集しています。

4. 活動拠点・宿舎

【いわて支援センター】（仮設コンテナ：ユニットハウス 16 畳）

〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町字館 3-4 （旧竹駒保育園園庭内）

TEL: 0192-47-4744 FAX: 0192-47-4745

活動スペース：事務所（活動スペース兼）約 8 人程度活動可

設備：仮設トイレが 2（うち 1 つは車いす対応）。向かいの公民館にもトイレあります。
仮設コンテナ室内には水道はありません。旧保育園の園庭内（屋外）に水道があります。仮眠・宿直用のユニットハウス（ベッド 1 台、寝具有）。

備品：PC、コピー、プリンター、冷蔵庫、電子レンジ、電気ポット、ガスコンロ等

駐車場：旧保育園の園庭内に 10 台程度駐車可。

【気仙沼宿舎】（民家を宿舎用に借り上げ）

〒988-0052 宮城県気仙沼市田中 173-1

宿泊部屋：1 階の一部のみ使用、洋室 6 畳×1 和室 6 畳×1 和室 10 畳×1

設備：トイレ、風呂、布団、台所、（自炊可、電子レンジ、ガス、冷蔵庫、鍋釜食器有）

駐車場：4 台まで駐車可

経路：

- ①新幹線利用の場合 東北新幹線一ノ関駅乗換、大船渡線気仙沼行 気仙沼駅降車
- ②東京から高速バス 池袋駅西口→気仙沼駅前（国際興業・岩手県交通バス：7 時間）
- ③自動車の場合 東北自動車道一関 IC より一般道利用

※ 活動場所は岩手県陸前高田市ですが、宿舎は宮城県気仙沼市となります。現在、陸前高田市で宿舎を探しています。

5. 申込方法等

- (1) 別添「日本障害フォーラム 東日本大震災地への職員派遣 派遣職員個票」をご記入のうえ、原則希望日程の 10 日前までに FAX 又はメールにて本部事務局まで送信くだ

(3) 派遣が正式決定しましたら当本部事務局から連絡をします。それ以前に交通機関等の予約をすることはお控えください。

(4) 派遣が正式決定しましたら、別添の「JDF いわて支援センターへの人員派遣要綱 (2012.6.11 ver2 版)」をご一読ください。特に「JDF いわて支援センター 援員のリスク管理」は必ず目を通してください。その他ご不明な点は事務局（下記）までお問い合わせください。

(5) 本支援活動にあたり、JDFが一括して旅行保険・賠償責任保険の契約をします。

日本障害フォーラム(JDF)

JDF いわて支援センターへの人員派遣要綱(2012.6.11ver2 版)

1. 目的等

- 日本障害フォーラム(以下、JDF)は、「JDF いわて支援センター」を4月17日に陸前高田市に設置し、この下で、当面 9 月末まで、各団体から(車両を含む)人員派遣を募り、被災地の障害者支援を行う。

2. 活動内容

- 陸前高田市と連携し、市内の障害者の訪問調査を行うとともに、活動の中で明らかになった、障害者への必要な生活支援(緊急性のあるもの)を行う。

主な支援活動内容は、以下のとおりとする。

①陸前高田市内の障害者の訪問調査【調査員】

;個人宅の訪問面接、車両の運転、センターでの記録・報告作成等事務を含む

*この調査は、障害福祉計画の策定を含む今後の障害福祉行政や防災計画への反映などの基礎資料を得るために、市からの依頼を受けて実施するものです。個別訪問と聴き取りによって、現在の状況やニーズの把握などをおこないます。

*調査員は、障害者支援や相談支援の一定の経験が望まれます。

②障害者への必要な生活支援(移動支援、同行介助)等【支援員】

;ワゴン車両の運転、センターでの記録・報告等事務を含む

*支援員は、障害者支援(居宅・施設問わず、ピアサポート含む)の経験が望まれます。

3. 派遣の形態

- 派遣の形態は、次の二方式とする。

①1グループを2~3人程度で編成し、車両付きで人員を派遣する

②人員のみの派遣については、1名からでも可とする。

*グループ派遣の場合、リーダー(責任者)を指定してください。

- 派遣期間は、現地滞在1週間を1クールとし、「調査員」と「支援員」の滞在パターンは異なります。

<調査員の滞在基本パターン;木曜日から翌週水曜日まで>

・木曜日;気仙沼駅17時45分集合、気仙沼宿舎泊

・金曜日~火曜日;オリエンテーション、訪問調査活動など

・水曜日;気仙沼駅8時30分散

<支援員の滞在基本パターン;月曜日から日曜日まで>

・月曜日;気仙沼駅17時45分集合、気仙沼宿舎泊

・火曜日~土曜日;オリエンテーション、個別支援活動

・日曜日;気仙沼駅8時30分散

- 「調査員」については、障害者支援や相談支援の一定の経験も考慮してチームの編成をおこなう。派遣申込の際に経験等を参考として記入されたい。

4. 支援者の派遣手続き

- 支援者(車両)の派遣については、「日本障害フォーラム派遣申込書(いわて支援センター版)」に記入して、JDF 総合支援本部事務局に提出する。派遣は、派遣決定を JDF 総合支援本部よ

り受けた段階で確定する。

- 現地支援センターの受入準備のため、派遣申込は派遣開始希望日から少なくとも数日の余裕をもって行うものとする。また状況により派遣開始日の調整をお願いする場合がある。

5. 派遣に伴う経費負担等

- 現地活動中の食費ならびにガソリン、高速道路料金、備品・消耗品にかかる費用については、定めた基準に沿ってJDFが負担する(現物支給を含む)。これらの費用を立替えた場合は、原則として現地支援センターの小口現金で精算する。なお、現地までの往復にかかる旅費・食費等については所属団体または個人の負担とする。

6. いわて支援センターの所在地・連絡先

- 各所への車両でのアクセスは下記URLを入力し、グーグル経路を参照の事。
<http://g.co/maps/kw6zv> (東北自動車道一関IC料金所→JDFいわて支援センター)
<http://g.co/maps/uee58> (東北自動車道一関IC料金所→気仙沼宿舎)
<http://g.co/maps/ckrvw> (JDFいわて支援センター→気仙沼宿舎)※移動時間 30 分
その他、公共交通機関利用の場合のアクセスについて
①東北新幹線 一ノ関駅降車 大船渡線気仙沼行乗換 気仙沼駅降車(1h20m)
②東京から高速バス 池袋駅西口→気仙沼駅前 (国際興業・岩手県交通バス:7 時間)

【いわて支援センター】(仮設コンテナ: ユニットハウス 16 畳)

〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町字館 3-4 (旧竹駒保育園園庭内)

TEL: 0192-47-4744 FAX: 0192-47-4745

活動スペース: 事務所(活動スペース兼)約 8 人程度活動可

設備: 仮設トイレが 2 つ(うち 1 つは車いす対応)。向かいの公民館にもトイレあり。

仮設コンテナ室内には水道なし。旧保育園の園庭内に外水道あり。

仮眠・宿直用のユニットハウス(ベッド 1 台、寝具有)

備品: PC、コピー、プリンター、冷蔵庫、電子レンジ、電気ポット、ガスコンロ等

駐車場: 旧保育園の園庭内に 10 台程度駐車可。

※気仙沼宿舎 (民家を宿舎用に借り上げ)

〒988-0052 宮城県気仙沼市田中 173-1

宿泊部屋: 1階の一部のみ使用、洋室 6 畳×1 和室 6 畳×1 和室 10 畳×1

設備: トイレ、風呂、布団、台所、(自炊可、電子レンジ、ガス、冷蔵庫、鍋釜食器有)

駐車場: 4 台まで駐車可

7. 支援者の必携品

- 着替え(動きやすい服装)、防寒具、上履き、タオル、帽子、雨具、携帯電話、常備薬、洗面道具、名刺、保険証、筆記用具、悪路でも歩きやすい靴、その他必要と思われるものをあらかじめ各自で準備する。
- 現地での食事は各自で調達する。(高田・気仙沼共に飲食店多数、またスーパー及びコンビニあり。※ただし、物価は首都圏に比べて高い傾向にある)
- 救援用の物資等は不要である。(支援センターへの食品の差し入れは歓迎)
- 寒暖の差があるので注意。

8. 車両関連

- 持ち込む車両(※冬季 11 月～GWまでは、4WD車、スタッドレスタイヤが必須です)については、

車両保険の加入状況、保険内容における運転者の範囲や制約条件が適うことが必須である。
配車ご協力者は、スペアキー、保険関係書類のコピーを持参されたい。

- 路面状態の悪い箇所（浸水区域を含む）で、人員の送迎や物資の運搬等を行うことが想定される。
- 岩手県内でのガソリン給油は、浸水区域等を除いて平常どおり可能である。「ガソリン携行缶」等の準備は不要である。
- カーナビあるいは道路地図を車両に準備する。（カーナビ推奨）

9. 損害保険等

- JDFとして一括して、旅行保険・賠償責任保険の契約を行う。

10. その他

●いわて支援センターの支援活動全般の調整は、事務局長と事務局員においておこなう。また、調査活動に関しては、いわて支援センターのもとに設置する調査委員会にて、必要な調整やとりまとめをおこなう。

●支援活動に入られる方は、応急仮設住宅の設置状況を、市ホームページなどからあらかじめ目をとおしておいていただけると良い。

<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/hisai/oukyuu-juutaku/oukyuu-pdf/juutaku-map.pdf>

日本障害フォーラム(JDF)

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1
TEL: 03-5292-7628 FAX: 03-5292-7630
e-mail: jdf_info@dinf.ne.jp

JDF いわて支援センター 支援員のリスク管理について

東日本大震災から1年3ヶ月が過ぎましたが、全国的に余震活動は続いています。6月18日の朝にも久しぶりに緊急地震速報が流れる地震が発生しました。

明治三陸津波の後にも昭和三陸津波等、地震や津波はいつ何時発生するか予想が付きません。

この地の支援に入るに当たり、支援員の皆様には最低限のリスク管理をして頂く必要性がありますので、以下の事項について各自確認と必要なものに関しては準備をお願い致します。

各自の安心と安全のため、また支援対象者の安全を確保するために確実に頭に入るよう各々の手帳等に転記をしたものを持参下さい（オリエンテーション時に事務局長が確認します）。

（いわて支援センター事務局長 小山）

1. 車両に関して

- ・ タイヤ交換は各自行えるようにして下さい。
※依然瓦礫処理中のため、釘等が道路に散乱している場所があり、パンクのリスクがあります。
- ・ 車両は常に満タンを心がけて下さい。
※停電時や災害時には給油が出来なくなります。
- ・ 移動時には災害 FM 等、ラジオをかけ、常に最新情報を入手出来るようにして下さい。
※防災無線が復旧していない地域があります。津波警報・注意報等の情報が入らない箇所があります。

2. 各自の携行物に関して（派遣要綱に追加として）

- ・ 携帯の予備バッテリーがある場合には必ず携行して下さい。
※停電時、基地局が駄目になった場合、電波を探すためにバッテリーをかなり消費します。ソフトバンクは、基地局が少ないためにサーチ時間が他に比べて多いです。
- ・ 従来型の携帯電話はエリアメールが入りますが、一世代前のスマートフォンでは入りません。アンドロイドでは「なまず速報」等の通知アプリをインストールされる事をお勧めします。
※宿舎は安全確保が出来ていますが、浸水地域を走行します。構造物がないために同じ規模の津波が来た場合、津波の勢いは以前に増して強い事が予想されます。いち早く情報入手するために必要です。
- ・ 未だ瓦礫処理の作業中です。マスクをカバンに入れておいて下さい。
※海風が強いので、粉塵が舞っています。アスベスト等の吸入を防ぐためにもお願いします。
- ・ ペットボトルの水（500ML）の常時携行して下さい。
※陸前高田市は地下水を汲み上げての水道になります。震災以降、飲用に適するまでに半年以上かかりました。災害発生時の飲料確保の観点からお願いします。

3. 退路の確認について

- ・ 常に退路を確認して動いてください。津波注意報・警報が発令された場合、高台に避難します。前回の津波で浸水した所は木が茶色に変色していますので、少なくともそれ以上の高台への避難をしていただきます。もし、渋滞した場合は道路外へ車両を寄せ、車にキーをつけたまま高台に走って避難します。

※その他、不明な点がありましたらご質問下さい。

日本障害フォーラム 東日本大震災地への職員派遣 派遣職員個票
(調査員用)

都道府県		担当者名		施設長名	
法人名・事業所名 ・業種					
連絡先	〒				
	Tel				
	Fax				
	E-mail				

派遣職員氏名				フリガナ	
性別		年齢	歳	エクセル操作技能	有・無
主な支援対象者の障害(複数回答○可)				知的・精神・身障	
携帯電話番号				運転	可・不可
現業務内容／年数		／ 年			
所有する資格					
現地到着予定時刻				現地出発予定時刻	

↓車で現地に向かわれる方はご記入ください。

車種・定員・車両No.	
-------------	--

血液型	A・B・O・AB 型 / RH式 プラス マイナス	
希望期間 (該当の□にレ)	☐ 7月26日(木)～8月1日(水)	☐ 8月2日(木)～ 8月8日(水)
	☐ 8月16日(木)～8月22日(水)	☐ 8月23日(木)～8月29日(水)
	☐ 8月30日(木)～9月5日(水)	☐ 9月6日(木)～9月12日(水)
	☐ 9月13日(木)～9月19日(水)	☐ 9月20日(木)～9月26日(水)
	☐ 9月27日(木)～10月3日(水)	
	※8月9日(木)～8月15日(水)はお盆期間のため活動休止します。	

備考	
----	--